

審 議 資 料

項目：主要環境（大気等、水質等、土壌）

担当：片谷委員、中杉委員

意 見

【大気等】

- 1 本事業は、近年にない大規模なイベントであり、事業計画地の周辺には、多くの住宅、教育施設、福祉施設、医療機関等の環境上配慮すべき施設が存在している。このことから、本事業の実施に伴う環境負荷の低減や適切な環境保全のための措置を実施するなど、周辺地域への環境負荷の一層の低減に努めること。

〔交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）共通〕

【大気等】

- 2 事業計画地の周辺には、工事の施行や大会の開催に伴い、多くの関連車両の走行が考えられることから、これらの車両が市街地で待機や違法駐車等を行うことがないように必要な環境保全措置を講じるとともに、関係機関等とも事前に十分協議を行うなど、周辺地域における交通の円滑化、交通安全の確保及び関連車両の走行に伴う環境負荷の低減に努めること。

〔生活環境（騒音・振動）、交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）共通〕

【大気等】

- 3 本事業は、コンパクトな会場配置をコンセプトとし、競技施設の多くが選手村から半径8キロメートル圏内に建設されることから、当該圏内において環境への影響が特に懸念される。このことから、工事の施行計画を明らかにするとともに、使用する建設機械の種類や台数、工事用車両の走行ルート及び環境保全のための措置等について、評価書案において記載すること。

〔交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）共通〕

【大気等】

- 4 一部の事業計画地について、周辺に住居等が存在しないことから、予測・評価項目として選定しないとしているが、周辺に教育施設、福祉施設、公園等の環境上配慮すべき施設が存在している場合には、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

[交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）共通]

【大気等】

- 5 一部の事業計画地について、延床面積1万平方メートル未満の仮設施設であることから、予測・評価項目として選定しないとしているが、工事の施行方法や工事期間等が明らかでなく、影響を及ぼすおそれはないとした根拠についての記述も不足している。このため、これらの施行方法等について明らかにしたうえで、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

[交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）共通]

【水質等】

- 6 水泳競技が開催される夏季は、東京都内湾の水質が悪化することも考えられることから、競技会場周辺の公共用水域について、頻度を上げて水質調査を行うなど、夏季における水質の状態を適切に把握すること。

【土壌】

- 7 廃棄物の埋立地に競技会場を建設する計画があることから、当該予定地に係る土地の履歴等の調査を実施し、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

審 議 資 料

項目：生活環境（騒音・振動）

担当：山本委員

意 見

【騒音・振動】

- 1 事業計画地の周辺には、工事の施行や大会の開催に伴い、多くの関連車両の走行が考えられることから、これらの車両が市街地で待機や違法駐車等を行うことがないよう必要な環境保全措置を講じるとともに、関係機関等とも事前に十分協議を行うなど、周辺地域における交通の円滑化、交通安全の確保及び関連車両の走行に伴う環境負荷の低減に努めること。

〔主要環境（大気等）、交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全） 共通〕

【騒音・振動】

- 2 事業計画地の周辺の道路交通騒音は、現状においても環境基準を超えている地点があることから、工事用車両の走行に当たっては、計画的な運行管理、規制速度の厳守、急発進・急加速を避ける等、道路交通騒音の低減に努めること。

【騒音・振動】

- 3 大会開催中においては、会場設備等（拡声機器、冷房施設、換気設備等）の稼働に伴う騒音、振動が生活環境に影響を及ぼすことも予想されることから、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

審議資料

項目：アメニティ・文化（史跡・文化財）

担当：寺島委員

意見

【史跡・文化財】

事業計画地及び周辺には多くの指定文化財等が確認されており、また、周知されていない埋蔵文化財等が存在する可能性もあることから、既存資料調査に加えて地元教育委員会等関係機関の最新情報を踏まえた調査を行い、これらの調査結果に基づき、必要に応じて予測・評価すること。

審 議 資 料

項目：社会活動（スポーツ活動、文化活動）

担当：中口委員

意 見

【スポーツ活動、文化活動 共通】

既存資料調査について、1998年長野オリンピック競技大会や2002年サッカーワールドカップ等の日本で開催された大規模な国際競技大会に関する調査や、民間シンクタンク、区市町村が実施した各種関連調査等についても幅広く情報を収集し、その活用を検討すること。

審 議 資 料

項目：参加・協働（ボランティア、コミュニティ、環境への意識）

担当：中口委員

意 見

【ボランティア、コミュニティ、環境への意識 共通】

既存資料調査について、1998年長野オリンピック競技大会や2002年サッカーワールドカップ等の日本で開催された大規模な国際競技大会に関する調査や、民間シンクタンク、区市町村が実施した各種関連調査等についても幅広く情報を収集し、その活用を検討すること。

審議資料

項目：安全・衛生・安心（安全、消防・防災、衛生）

担当：中口委員、千葉委員

意見
【安全、消防・防災、衛生 共通】 意見なし

審議資料

項目：交通（交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全）

担当：片谷委員

意見

【交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通】

- 1 本事業は、近年にない大規模なイベントであり、事業計画地の周辺には、多くの住宅、教育施設、福祉施設、医療機関等の環境上配慮すべき施設が存在している。このことから、本事業の実施に伴う環境負荷の低減や適切な環境保全のための措置を実施するなど、周辺地域への環境負荷の一層の低減に努めること。

〔主要環境（大気等）共通〕

【交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通】

- 2 事業計画地の周辺には、工事の施行や大会の開催に伴い、多くの関連車両の走行が考えられることから、これらの車両が市街地で待機や違法駐車等を行うことがないように必要な環境保全措置を講じるとともに、関係機関等とも事前に十分協議を行うなど、周辺地域における交通の円滑化、交通安全の確保及び関連車両の走行に伴う環境負荷の低減に努めること。

〔主要環境（大気等）、生活環境（騒音・振動）共通〕

【交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通】

- 3 本事業は、コンパクトな会場配置をコンセプトとし、競技施設の多くが選手村から半径8キロメートル圏内に建設されることから、当該圏内において環境への影響が特に懸念される。このことから、工事の施行計画を明らかにするとともに、使用する建設機械の種類や台数、工専用車両の走行ルート及び環境保全のための措置等について、評価書案において記載すること。

〔主要環境（大気等）共通〕

【交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通】

- 4 一部の事業計画地について、周辺に住居等が存在しないことから、予測・評価項目として選定しないとしているが、周辺に教育施設、福祉施設、公園等の環境上配慮すべき施設が存在している場合には、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

〔主要環境（大気等）共通〕

【交通渋滞、公共交通へのアクセシビリティ、交通安全 共通】

- 5 一部の事業計画地について、延床面積1万平方メートル未満の仮設施設であることから、予測・評価項目として選定しないとしているが、工事の施行方法や工事期間等が明らかでなく、影響を及ぼすおそれはないとした根拠についての記述も不足している。このため、これらの施行方法等について明らかにしたうえで、必要に応じて予測・評価項目として選定すること。

〔主要環境（大気等）共通〕